

グループ名	ユニット名等	科 目 名	担当教員名	対象学年次	学 期
現代社会	2 単位 キャリアデザイン	生涯学習論	富岡守	2 年次	秋

授業のキーワード	ボランティア、NPO、地域社会
授業の概要・目的 及び修得させる知識・技能	群馬県内や高崎市内でのNPO・ボランティア活動などを紹介し、ボランティアへの理解を深めていただき、学生が卒業後も自発的にボランティア活動に参加する意識を育むことを目標とします。
履修のアドバイス・ 前提科目等	NPOボランティア方々の協力をいただき、地域社会の課題を学生と一緒に考え、自分たちに何が出来るかをともに考えます。

授 業 展 開

	テーマ	内 容		テーマ	内 容
第 1 講	オリエンテーション	授業の進め方や採点方法を説明、現在の社会状況に応じた授業を行うために学生へのアンケートの実施	第 9 講	若者の就業支援とNPO活動	ニートや引きこもりなど現在の若者は数多くの課題を抱えています。そのような若者を支援するNPO活動を紹介します。(協力：若者の就業支援NPO)
第 2 講	今、なぜ「ボランティア」か	サブプライムローン問題を発端に様々な課題を抱える地域社会、このような社会だからこそ「ボランティア」が必要とされています。	第 10 講	求められている「企業の社会貢献活動」	キリンビールのJOC支援の打ち切りなど企業のスポーツ支援のあり方が話題を呼んでいます。企業の社会貢献の意義やそのあり方について考えます。(協力：企業社会貢献担当者)
第 3 講	炊き出し訓練	地震の災害時には、温かい炊き出しが被災者には大変喜ばれています。ビニール袋を利用した炊き出し訓練をクラス全員で行います。どんな訓練か参加してみませんか。(協力：災害支援ボランティア)	第 11 講	ボランティアと障害者支援	「ノーマライゼーション」言葉では簡単なことですが、実際には数多くの課題があります。NPOの活動事例を紹介しノーマライゼーションとは何かを考えます。(協力：障害者支援NPO)
第 4 講	ボランティア活動の歴史	日本人の考えるボランティア活動と欧米流のボランティア活動に着目し、相互の違いや社会的背景を考えるとともに、日本のボランティア活動の歴史について学びます。	第 12 講	ボランティアと環境保護	尾瀬の自然のすばらしさを知るとともに、尾瀬の自然を保護するために活動しているボランティアについて学びます。(協力：尾瀬保護財団)
第 5 講	ボランティアと高齢者支援	「施設ではなく地域で暮らしたい」、高齢者の希望をかなえるために活動している事例を紹介するとともに、高齢者支援とは何かを考えます。(協力：高齢者支援NPO)	第 13 講	NPO・ボランティアと行政との協働	NPO・ボランティアと行政はその性格や行動様式は大きく違います。しかし両者により協働の必要性が増加します。両者による協働とは何かを考えます。
第 6 講	オバマ大統領就任とアメリカのNPO・ボランティア	オバマ大統領はボランティアの重要性を訴えました。アメリカでのボランティア活動やNPO活動について学ぶとともに、国際的に盛んになったボランティア活動も紹介します。	第 14 講	ボランティア活動のすすめ	具体的なボランティア活動の事例紹介し、ボランティアと地域社会との関わりを考え、ボランティア活動の原則や活動時の注意点などを説明し卒業後の参考とします。
第 7 講	ボランティアと地域づくり	高崎市の中心街で毎月開催される「人情市」、その人情市を運営するNPOの活動を紹介しますとともに、	第 15 講	定期試験	ボランティアに関するレポート

		「まちづくり」とは何かを考えます。(協力：NPO法人高崎やるき堂)		
第8講	NPOと特定非営利活動促進法(NPO法)	阪神淡路大震災を契機に、ボランティア活動を支援するために定められた特定非営利活動促進法の概要と代表的な県内のNPO活動を紹介します。	評価方法	出席点：40%、定期試験(レポート)：60%により総合的に評価
	備考 (関連する資格・試験等)	地域で暮らす人々の社会的な支援に関する需要(何が必要か)は増加し、多様化(何をしてほしいか)しています。しかし、地域社会での支援機能は減退し続け、高齢者や子ども達などの社会的弱者を支援するボランティア活動はますます重要となっています。一人一人が、自分で何が出来るか考えるてほしい。		
使用する教科書(必ず購入してください)		参考文献		
なし		講義の参考資料はその都度配布します。		